登壇者プロフィール

総合司会

小野 広祐

NHK手話ニュースキャスター
私立明晴学園校長

1979年生まれ。東京都立杉並ろう・大田ろう学校を経て和光大学卒業。日本手話と書記日本語によるバイリンガルろう教育を目指し、龍の子学園の創設に携わり、2008年の明晴学園開校にも尽力。現在、明晴学園校長、NHK手話ニュースキャスターを務める。著書に『ぼくたちの言葉を奪わないで！』『日本手話のパスポート』など。

ビデオメッセージ

小林 幸子

歌手

1953年生まれ。新潟県出身。
1964年10歳でデビュー。79年「おもいで酒」が200万枚突破の大ヒットとなり、日本レコード大賞最優秀歌唱賞をはじめ数々の音楽賞に輝く。
同年NHK「紅白歌合戦」に初出場、以降34回出場。
現在、NHK-Eテレ「みんなの手話」にて、キャラクターの声を担当。

ミニ講演③

長谷川 恵美理

株式会社CSLI 代表取締役
コンサート手話通訳者

株式会社CSLI代表取締役。CODAとして、ろうの親のもとで手話のある環境で育つ。2013年より「誰もが一緒に楽しめる場」を目指し、コンサート手話通訳の活動を開始。
現在は「コンサート・イベント体験翻訳設計」を専門に、企業・行政等と連携しながらアクセシビリティの実現に取り組む。

基調報告

倉野 直紀

全日本ろうあ連盟本部事務所長
元デフリンピック運営委員会事務局長

1972(昭和47)年三重県生まれのろう者。
全日本ろうあ連盟理事やデフリンピック準備室事務局長を経て、2023年7月から2026年3月までデフリンピック運営委員会事務局長を務め、東京2025デフリンピックの招致および準備運営に深く携わる。現在、一般財団法人全日本ろうあ連盟本部事務所長。

パネラー

Sasa-Marie(萩原昌子)

一般社団法人
MUSICA ARCHE 代表理事

令和6年度文化庁新進芸術家海外研修で英国・カナダにて、ろう者と音楽、Deaf-Ledによる文化芸術振興をリサーチ。東京文化会館ワークショップ・リーダー育成プログラム修了。九州大学大学院博士後期課程、東京藝術大学大学院特別研究生。Sasa-Marie名でMUSICA　Artistとして活動。

基調講演

伊藤 芳浩

NPO法人
インフォメーションギャップバスター理事長

1970年、岐阜県生まれ。生まれつきのろう者。「ろう文化宣言」に影響され、ろう者としての自己を確立。名古屋大学理学部卒業後、IT系企業でマーケティング担当。情報バリアをなくすNPOを設立、代表を務める。現在は情報アクセシビリティ、ビジネスと人権の啓発活動が中心。2024年参議院調査会参考人。著書に『マイノリティ・マーケティング』(ちくま新書)など。

パネラー

西脇 将伍

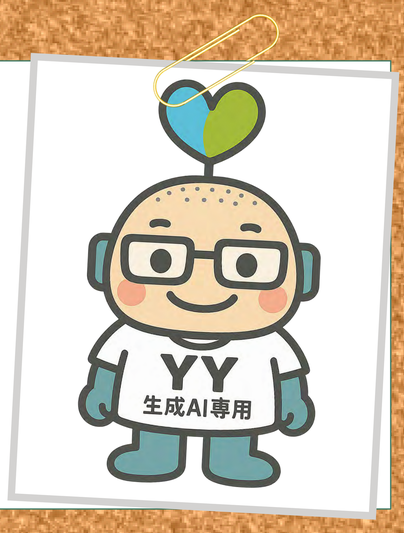
手話アーティスト

東京都出身。ろう親の元に生まれ、中学までバイリンガルろう教育を受けて育つ。高校よりインテグレーションし、大学では多岐にわたる活動に注力する。2023年にデフアクターズ・コース修了。現在、多様な団体やプロジェクトに携わる傍ら、NHK「手話で楽しむみんなのテレビ」「みんなの手話」等、様々なメディアや公演に出演中。

ミニ講演①

中村 正樹

株式会社アイシン(YYシステム)



株式会社アイシン YYSystem開発者。
カーナビゲーションシステム開発を経て、2015年より音声認識やナレッジデータベースの研究開発に従事。コロナ禍で聴覚障害者との出会いを契機に、「意思疎通支援システム YYSystem」の開発を推進。令和7年度愛知発明賞受賞。

パネラー

田中 結夏

「となりのきのこ」代表
舞台手話通訳者

2023年に個人事業「となりのきのこ」を立ち上げ、2025年末から文化庁「新進芸術家海外研修制度」により渡英。舞台手話通訳機関「THEATRESIGN」にて研修を受ける。これまでにミュージカル『SIX』、ミュージカル『アニー』、舞台『ハリー・ポッターと呪いの子』など、30作品以上の舞台手話通訳を担当。

ミニ講演②

平嶋 萌宇

Land Hey

筑波技術大学大学院で手話を専攻。
姉妹で「Land Hey」として手話を広める活動を続け、デフサッカー応援サポーターとしても活動。
さらなる挑戦を求め、2026年1月に第58回ミス日本コンテストへ挑戦。ろう者として初めてミス日本ミス着物を受賞。現在は日本の伝統を学び、継承と手話の発信に励む。

パネラー

今井 彰人

俳優

2009年日本ろう者劇団に入団。米内山明宏氏指導のもと翌年『エレファントマン』(2010)で初主演・俳優デビュー。以降、舞台・映画・映像作品において、表現者として独自の存在感を放っている。主な出演作に、呉美保監督『ぼくが生きてる、ふたつの世界』(2024)、今井ミカ監督『黄色い子』(2025)など。